

# 磯路地域活動協議会通信 144 号

<https://isoji.info/>

2025 年 2 月



## 防災学習（土曜授業）

1 月 18 日（土） 磯路小学校講堂・各教室

災害伝言ダイヤル



災害時に電話が繋がらなくなった時に、自分の状況を報告して伝えることができるサービス

30 年前の 1995(平成 7)年 1 月 17 日午前 5 時 46 分、阪神・淡路大震災が発生しました。「戦後最悪の極めて深刻な被害をもたらした地震」となったあの日から 30 年が経ちましたが、その後も各地で災害は繰り返し起こっています。磯路小学校においては、阪神・淡路大震災を風化させないために、そして今後起こりうる南海トラフ地震に備えて、この時期に防災学習を行って来ました。今年は節目の年ということで当時の映像がメディア等で流れる機会も増えていることや、南海トラフ地震がいよいよ近づいて来ているという危機感から、例年以上に熱心に取り組むこともたちの様子が見られました。

港区防災アドバイザーである多田さんによる、災害伝言ダイヤルの使い方や、港消防署の指導による消火器体験、港区社会福祉協議会による簡易トイレの説明、また、地域の自主防災組織『磯路風（イソップ）』によるダンボールベッドの組み立てや PTA の協力によるアルファ化米体験を行いました。



地震が増えている昨今、非常時の行動や備蓄用品を今一度、ご家族で確認していただきたいと思います。関係者の皆様、寒い中の訓練お疲れさまでした。



## NEWS

### ホームページについて

ホームページをリニューアルしました。今回のリニューアルでは、デザインとページの構成を見直し、より見やすいサイトの向上を図りました。

地域の皆様に最新の情報を発信できるよう、コンテンツの充実を図り、お役に立てるホームページ運営を目指してまいります。

Instagram もあわせてご利用ください。



大阪市港区磯路地域の情報共有の発信源として運営。

磯路地域活動協議会

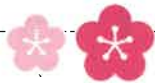
<https://isoji.info/>

Instagram



isojinochikatsu





## ほっとにゅーす



### 桜通りの桜の木について

桜通りの桜がいよいよ撤去されます。植樹から 60 年ほど経ち、歩道を持ちあげて凸凹になる根上がりや、台風による倒木など、危険な道路として課題となっていました。歩いておられる方が盛り上がってしまった箇所です。つまずき転倒したり、老木が倒れるリスクもあり、安全確保が優先されることになりました。行政により撤去費用が予算化され、管理団体である桂音会の方たちと話し合いを重ねた結果、今年度中に、移植が予定されている木以外の危険木は撤去することとなりました。今後の展望としては、横に広がらず大きくなりすぎない種類の桜の木を選定したうえで改めて植え直すのか、別の街路樹を植えるのか、または何も植えないのかについて、ワークショップや意見交換会を行いながら、検討していくこととなります。2 月下旬までは、工事に伴う道路規制や騒音が懸念されますが、地域としては、より多くの方が今まで通りに親しみを持ってくださり、樹木から季節感が感じられ、かつ安全が担保される道路に生まれ変わることを願っています。伐採までの経緯については、港区役所ホームページの区長の部屋 磯路「桜通りの経過」について詳細があります。ぜひご一読いただければと思います。

[大阪市港区:磯路の「桜通り」の経過について \(区長の部屋\)](#)



#### ふれあい喫茶

2 月 15 日 (土)

10:00~13:00

Menu コーヒー (HOT) /  
紅茶 (HOT) / ジュース  
トーストまたは  
お菓子付き 100 円



#### ありがとう桜通り

#### 桜通りの未来を考える ワークショップ

長年地域の誇りとしたみんなで管理してきた桜通り。  
今の桜が無くなった後も桜通りは続いていきます。  
今後の桜通りをみんなで創って行くために、桜に感謝  
しながら新たな桜通りのアイデアを考えましょう！

日時 2025. **2.22 (土) 13:00-15:00**  
場所 磯路会館老人憩いの家  
費用 無料

桜通りの懐かしい  
画像を紹介。  
桜通りの桜の小枝  
や落ち葉を使って  
工作をしましょう。



#### 編集後記

桜通りの抱える課題を広く皆さんに知っていただき、その解決策を探っていくための一助となれるよう、『桜通り de 桜まつり』を最初に行ったのは 2015 年。理屈では分かっている、来なければいいと思っていた、桜の木々とのお別れが少しずつ近づいてくことに、心がついていけない日々です。「地活は桜のことを考えてくれているのか？」とお怒りの投書をいただいたことがあります。一方で、「大型車が通れない」「道が凸凹していて危ない」等、伐採を希望するご意見をいただいたこともありました。地活通信では、「こうすべきだ」という意見よりも、その時点での状況や課題、地域・行政との話し合いのなかで決定した内容を、その都度お伝えしてきたつもりです。

この先、どのような姿になるのかはまだ分かりませんが、桜通りが地域の皆様にとって安心で、長く愛され続けることを心から願っています。